

国立大学法人東海国立大学機構

岐阜大学

(審査・評価委員会委員の所見)

- 名古屋大学と同じく、機構としての戦略性が少しずつ生まれつつある。
- マッチングファンド型共同研究講座の取組みは、統合後の東海国立大学機構としてではなく岐阜大学独自の取組みであり、成功へのハードルは高いが期待がもてる。
- 今後は機構としての統合シナジーの追求とともに、多様性の観点からの岐阜大学独自の取組みにも注力して欲しい。
- 産学連携拡大にむけて様々な施策を検討している点が評価できる。(例) WEB 検索マッチング、大学独自のマッチングファンド型共同研究等。)
- 産学連携実績を教員評価に入れると共に、若手研究員ポスト拡大を計画している点が評価できる(産学連携教員)。
- 産学連携の取り扱い組織は充実してきている。その成果と拡大が期待される。

国立大学法人九州工業大学

(審査・評価委員会委員の所見)

- 学長のリーダーシップが素晴らしい。
- 足元の地域ものづくり連携から、将来の革新的宇宙利用まで、バランスの取れた産学連携の取組みを実施している。
- 技術シーズが豊富で TM シート等で見える化している点が評価できる。
- 強みのある特定分野において包括連携を実施、共同研究を大型化している点が評価できる。
- 研究業績に基づき、処遇、予算を再配分している点が評価できる。
- U R A 制度に問題意識が有り前向きな再構築を模索している。すでに大手企業との付き合いがあるが、最近では小型衛星を介して自治体や海外との間口も広がってきている。U R A の機能充実が期待される。
- 全般的な研究指向の大学としては評価できるが、民間資金の導入を政策的に促そうとする本事業の趣旨とのズレを感じる。

国立大学法人岡山大学

(審査・評価委員会委員の所見)

- 間接経費の拡大や民間投資呼び込みの拡大などの取り組みに大きな進展。さらに、大学病院を中核とするヘルスケアの地域での存在に大きな可能性。
- 岡山大学の特長を活かし、医療関連の地域拠点としての様々な先駆的な取り組みが素晴らしい。
- 中核の医療事業・大学病院経営のネットワークやノウハウを、地域における研究力・イノベーション創出機能の強化に繋げようとしていることにも期待が出来る。
- 医学系ではトップクラスだが、工学系等での共同研究はこれからに期待。
- 経営に関する解析・対策が正確で、具体的である。
- 産学連携拡大に向けて Imac 創設、出島創設等意欲的な取り組みを行っている。
- 学長を中心に産学連携に熱心に取り組んでいる。今後の拡大に期待する。

国立大学法人東京農工大学

(審査・評価委員会委員の所見)

- 計画が多岐・多種にわたり、かつ独自性を持っている。学長のリーダーシップに期待したい。
- 学長のリーダーシップが素晴らしい。学内にも浸透している。
- 費用対効果等、投資に対する考え方もしっかりしている。
- 学長の意識も高く、全学で外部資金獲得拡大に動いている。
- 外部資金を人事評価に取り入れている。資格再審査制度も実施。
- 強みの一つである動物高度医療センターを設置し、外部資金拡大を図っている。
- 共同研究拡大のために、研究所「総研」を創設した点が評価できる。
- 農学と工学の融和を図り全学一体のオープンイノベーション活動を展開しようとしている。グローバル活動も板についている。